

【基本情報】

教 科	スーパーサイエンス	学 年	1 年	教科書	なし
科 目	スーパーサイエンス（ＳＳ） 研究Ⅰ	単位数 (年間予定コマ数)	1 (32)	副教材	なし
科 目 概 要	2年次で『課題研究（グループ制）』を進めるために、研究の手法やプレゼンテーションの基礎を学ぶとともに、研究テーマを検討し研究計画を作成する。 ① 地域巡検：地域のフィールドワークを通してその手法を学ぶとともに、地域の自然環境や身近な現象に目を向ける。 課題研究に向けて探究活動を行い、研究テーマを模索する。 ② プレゼンテーション講座：地域巡検の課題や探究活動についてプレゼンテーションを作成し、基礎となる技術や姿勢を身につける。 ③ 『課題研究（グループ制）』のテーマ設定及び研究計画の作成				
到 達 目 標	2年次の『課題研究』に向けて、以下の点がきちんと考えられた研究計画が立てられる。 ○現実的な計画である ○仮説を検証するために、適切な実験・観察及び調査等が盛り込まれている ○実験及び観察方法に再現性があり、創意工夫がなされている ○研究のまとめ及び発表までが日程に考慮されている				
授業の進め方	・教科書及び副教材（問題集等）はありません。 ・配付されるプリントに従って進められます（プリントは専用ファイルに保管）。 ・各単元においてレポートやプレゼンテーションを作成する。				
留 意 事 項	・グループ内での活動を重視し、お互いに協力して活動する。 ・グループにかかわらず、積極的に意見を交わしたり議論をする。				
家 庭 学 習	・授業の内容や研究テーマを決めるに当たって、必要な情報や資料を積極的に集めておくことを推奨する。				
備 考					

【評価の方法】

観 点	ポイント	割 合	評価項目
A. 関心・意欲・態度	それぞれの取り組みにおいて、科学的知識に対する関心を高め、意欲的に追求しようとしているか。	2 5 %	各取り組みにおいて、上記4観点を1～複数指定し、提出物等で評価する。発表を伴う取り組みにおいては、発表資料及び態度等も評価に加える。さらに、小テスト等の結果で評価する場合もある。
B. 思考・判断・表現	それぞれの取り組みにおいて、的確な判断がなされ、論理的に思考ができ、さらに適切に表現ができているか。	2 5 %	
C. 技能（資料活用能力）	それぞれの取り組みにおいて、技能の習得及び資料の活用が適切になされているか。	2 5 %	
D. 知識・理解	それぞれの取り組みにおいて、科学的知識等の理解がなされているか。	2 5 %	

【年間計画】

単 元	配当時数	学習内容	観点別評価				到達目標
			A	B	C	D	
1 オリエンテーション	1	「ＳＳ研究Ⅰ」のねらいについて				○	この一年間のＳＳ研究の取組などについて理解する。
2 地域巡検Ⅰ (嵐山北郡野草園・神居古潭)	2	・事前学習	○	○	○	○	地域の自然を理解するとともにフィールドワークを実際に実施することで、その手法を身につけ、研修内容をまとめて発表できる。
	6	・北郡野草園・神居古潭でのフィールドワーク	○	○	○	○	
	2	・研修のまとめと発表	○	○	○	○	
2 2年生課題研究 中間報告会	2	・2年生の課題研究中間発表（ポスター発表）に参加する。	○	○	○	○	2年生の課題研究に対して積極的に考え、質問できる。
3 地域巡検Ⅱ	2	・事前学習	○	○	○	○	地域の自然を理解するとともにフィールドワークを実際に実施することで、その手法を身につけ、研修内容をまとめてレポートを作成し、発表できる。
	6	・旭山動物園での実習	○	○	○	○	
	1	・レポート作成	○	○	○	○	
	2	・報告会					
4 プレゼンテーション 演習	2	・プレゼンテーションソフトを使った実習	○		○		プレゼンテーション作成の基礎を理解する。
5 課題研究計画	1	・オリエンテーション					課題研究のテーマを自ら考え、適切に研究計画を立てることができる。
	4	・課題研究の計画作成	○	○	○	○	
	1	・活動のまとめ				○	